

系所組別： 法律學系甲、丙組

考試科目： 日文

考試日期：0222・節次：4

※ 考生請注意：本試題不可使用計算機。請於答案卷(卡)作答，於本試題紙上作答者，不予計分。

一、下記の日文を漢文に翻訳すること？ (30%)

疑わしきは罪せず「無罪推定の原則」

刑事訴訟法は、警察官に呼び止められたり、無実の罪で身柄拘束されたときだけでなく、裁判員に選ばれて判断を下すために不可欠な法律です。

刑事訴訟法の最大の理念は、「無罪推定の原則」です。

つまり、裁判で有罪判決を受けるまでは、何びとも「無罪」とであると推定されると言う原則です。「疑わしきは罪せず」とも言います。

なぜ、このような「無罪推定原則」が大原則かという、これも「法律のキモ」から導かれるのです。

法律のキモ、もうさすがに憶えましたかな？

個人の権利は最大限尊重されるものであり、各個人は他者の権利を害しない限りいかなることをも行う自由を有する。

二、法律の基本となる六つの法律は何ものを指すのか？その内容と目的を答えること？日本と我国も大体同じである。(20%)

三、下記の漢文を日文に翻訳しなさい。(30%)

(一) 廣義保險法 廣義保險法是以保險為對象,加以規律的一切法律與法規的總稱。包括保險公法及保險私法,所謂保險公法,屬於公法性質的保險法規,例如保險事業監督法與社會保險法。而所謂保險私法,即屬於私法性質的保險法規,通指與保險有關的私法法規,例如保險契約法與保險企業組織法等均包括在內。

(二) 狹義保險法 專指保險私法,並不包括保險公法,如一般的保險契約等是。

四、あなたが法律学修士(碩士)課程に進学する動機と将来の展望を述べる？  
(20%)

(全4題 100%)